

# 微生物検査学 Microbiological Examination

薬：L1-41311MY、生命：L1-34311MS

医療科目 3年／前期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 岡崎 充宏(非常勤講師)

## ■ 教育目的

臨床検査技師の役割と使命を理解し、臨床医は何を求めて微生物学検査を依頼するのか、その検査の臨床的意義を学ぶ。そのうえで、本科目における感染症の診断、治療及び予防に貢献するための知識及び技術の基本を修得することを目的とする。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-② YD-④ YD-⑥、SD-① SD-② SD-③】

## ■ 学習到達目標

1. 微生物の分類・構造などの基礎知識を理解できる「知識、技能」
2. 微生物ごとの感染症を理解できる「知識、技能」
3. 微生物検査の基本(病原体の分離・同定・薬剤感受性検査)を理解できる「知識、技能」
4. 感染症における抗微生物薬と薬剤感受性を理解する「知識、技能」

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：教科書・参考書の記載に目を通しておくこと (30分以上)

復習：授業資料を再視聴し授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分でノートをまとめる (10分)。過去の臨床検査技師国家試験の当該領域に目を通し理解しておくこと (10分)。

## ■ 授業形態

講義

## ■ 授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	微生物の基本 1	総論、細菌の特徴、ウイルス、真菌など	C8-(3)-①～③
2	微生物の基本 2	原虫、蠕虫、消毒と滅菌、検出方法など	C8-(3)-④～⑥
3	病原体について 1	感染、マイクロバイーム	C8-(4)-①～②
4	病原体について 2	病原体の各論(ウイルス、グラム陽性菌など)	C8-(4)-②
5	病原体について 3	病原体の各論(抗酸菌、グラム陰性菌など)	C8-(4)-②
6	病原体について 4	病原体の各論(真菌)	C8-(4)-②
7	病原体について 5	病原体の各論(原虫)	C8-(4)-②
8	疾病の予防	感染症とその予防	D1-(2)-②
9	身体の病的変化	代表的な微生物検査の項目、目的、パニックデータについて	E1-(2)-②
10	抗菌薬と耐性菌	各系統の抗菌薬と耐性機序の特徴	E2-(7)-①②
11	病原微生物(感染症)と薬剤 1	細菌感染に対する抗菌薬治療と耐性菌 1	E2-(7)-③
12	病原微生物(感染症)と薬剤 2	細菌感染に対する抗菌薬治療と耐性菌 2	E2-(7)-③
13	病原微生物(感染症)と薬剤 3	ウイルス、プリオン感染症の薬剤、病態、治療	E2-(7)-④
14	病原微生物(感染症)と薬剤 4	真菌、原虫・寄生虫感染症の薬剤、病態、治療	E2-(7)-⑤⑥
15	チーム医療への参画	infection control team における臨床検査技師の役割	F-(4)-①-9

## ■ 授業分担者

岡崎 充宏(非常勤講師)(No.1～15)

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題提出 100%(課題提出をもって出席確認を行う。課題内容にて成績評価する。)

## ■ 教科書

「最新 臨床検査学講座 臨床微生物学」編集 松本哲也(医歯薬出版)

## ■ 参考書

自作講義資料等。「病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版」(MEDIC MEDIA)